

新展示場紹介

シン・ぐるぐるカプセル(仮)

2F

今度の展示場リニューアルでは、まったく新規に導入されるものもありますが、これまでに実績のある実験装置がさらにバージョンアップして再登場するものもあります。

「ぐるぐるカプセル」もバージョンアップして作り替えます。

新ぐるぐるカプセルが、どんなデザイン・どんな名称になるのか、この原稿を書いている2023年12月現在では、まだ確定していませんが、どうい改良をしようと思っているか、ちょっとだけご紹介します。

ぐるぐるカプセルは、回転するカプセルの中に入れてある球の動きから遠心力を観察する装置ですが、もしも下図のように、カプセルにすき間(穴)があったとしたら、球はどうなるでしょうか？

- ① ポトンと落ちる？
- ② 回転軸と垂直の方向(外側)に飛び出す？
- ③ 回転方向に飛び出す？

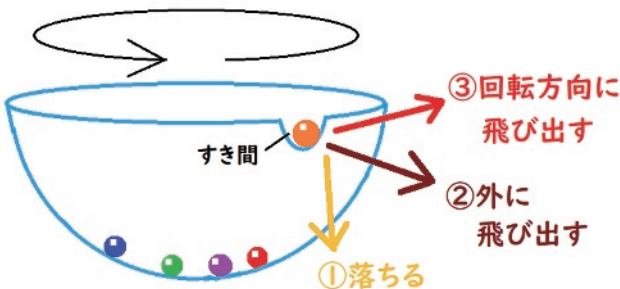


図2. もしカプセルに穴が開いたら、球はどうなる？

答えは…③です。
遠心力は慣性力。動いている物体は、動き続けようとしています。新展示は、その遠心力の作用が分かるように改良します。
お楽しみに！

石坂 千春
(科学館学芸員)